

(別記)

令和2年度日進市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、耕地の約7割が水田で農業の主力は稲作である。しかし、名古屋市の東部に隣接しているという地理的条件もあり、第二種兼業農家がほとんどであり、1戸あたりの耕地面積も狭小で、高齢化や後継者不足からJA関連会社などへの利用集積や作業委託が増加しているとともに遊休農地も増えている。また、水稻以外の大豆・野菜等の作物については、産直施設に出荷するなどの小規模な作付が主となっている。

こうした中、需要に応じた米生産を推進するとともに、水田の高度利用によって水田面積の維持を図っていく必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

低農薬の米作りの徹底により、米の主産地としての地位を確保する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主に主食用品種での対応とするが、市場の動向等に応じつつ、新たな販路の開拓などによる需要の掘り起こしを目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

該当なし

(4) そば、なたね

該当なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金を活用し、地域振興作物として野菜・花き・花木の作付を推進し、令和3年度には野菜については8haの生産、花き・花木については生産の拡大を目指す。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	223	235	235
飼料用米	0.5	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0.5	0.5	0.5
飼料作物	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物			
野菜	4.4	4.9	4.9
花き・花木	0.16	0.20	0.20
果樹	0	0	0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	野菜	担い手による高収益作物生産への支援	野菜作付面積	(2019年度) 440a	(2020年度) 490a
2	花き	担い手による高収益作物生産への支援	花き作付面積	(2019年度) 16a	(2020年度) 20a
3	野菜	転作作物拡大加算	野菜作付面積	(2019年度) 440a	(2020年度) 490a
	花き		花き作付面積	(2019年度) 16a	(2020年度) 20a
4	野菜	高収益作物等拡大加算	野菜作付面積	(2019年度) 440a	(2020年度) 490a
	花き		花き作付面積	(2019年度) 16a	(2020年度) 20a

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり